

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 一榮	代表者	松岡 久美	法人・事業所の特徴	理念一、私たちは、笑顔と感謝と思いやりを大切にします。二、私たちは、心に寄り添うおもてなしを提供します。三、私たちは、事業を通じ地域社会に貢献いたします。行動規範 私たちは、笑顔で、明るく、元気な挨拶を励行します。私たちは、心と体にある『生きる力』で自立を支援します。私たちは、すべての事柄を、相手の立場で考え・判断します。私たちは、常に相手を尊重し、正しく誠意のある行動をします。私たちは、『報・連・相』を実行し、風通しのよい職場を作ります。
事業所名	小規模多機能いちえい保免	管理者	酒井 英彰		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	9人	0人	0人	1人	3人	1人	3人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営推進委員会を含め行事には利用者さんや職員の参加を出来るだけ実施する様にする。一度に出席率を上げられなくても継続して行き少しでも広げられることを心掛ける。	すべての行事について利用者さんと職員の参加を意識して取り組んできた結果、参加人数の多い少ないはあるにしてもとにかく参加する事についてはある程度の結果は出せたと思う。しかし、運営推進会議への職員や入居者さんの参加は人手不足もあり時間を割く事が出来ない事が多く、両方ともに単発で終わりがちであった。今後は頻度を増やしていくことに目標を置きたい。	アンケートの回答方法を工夫してみてもどうかとの意見があったので様式をかえるのは可能なのか又どこまでかえられるのかを確認の上で取り組んでみることも考えたい。出来ていない点が多くあがっているのに対して改善計画が少なすぎるのではないかとこの意見があった。「わからない」との回答が多くあり、外部からは取り組みが見えないことが解り前年も同様の傾向があった。今後取り組みを外部に伝えていく工夫が必要である。	行事についてはまだ参加できていない行事もあるので地域の可能性のあるものは参加していきたい。運営推進会議については利用者さんと職員の複数回参加を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	内部だけで出来る安全性だけでなく外敵からの守りについても気を付けて施設全体の安全性を高めて、地域の方から安全な避難所として信頼される事を目指す。	事業所内部の居心地の良さや家族さんや地域の方々の入りやすさのような雰囲気の良い過ごしやすさについては、評価されている。セキュリティ一面では利用者さんが誤って外出されるのはドアのダイヤルロックと職員の注意で対処出来ているが外部からの不審者の侵入があった場合についてはシステム上の対応は出来ない。	居心地の良さを感じて頂かなければいけないのは、利用者さんと家族さんなので両者からの自由な意見を受けられる機会を持つ様にし特に利用者さん目線で考え、利用者さんの居心地の良さを為になる事をしてほしいとの意見があった。アンケートの数値だけではなく、その理由についても考えていく必要があるとの意見とスタッフ全員での具体的な取り組みが表からは見えないとの意見もあった。	安全性、安心感、居心地や過ごしやすさについても利用者さん及び家族さんから提案をしていただける様に職員から働きかける。

<p>C. 事業所と地域 かかわり</p>	<p>事業所と地域で相互に情報の交換や働きかけを行っていき声をかけやすい雰囲気を作っていく事に努め、地域の方々や家族の方々が相談などをもちかけ易い施設を目指す。</p>	<p>事業所の存在を好意的に認識して頂いているので職員もあいさつや地域の行事やイベントに参加するといった関わりは持っている。しかし、困り事の相談をするような深い信頼感をもって頂くほどにはなれていないという結果である。</p>	<p>困り事の相談をするほどの深い関わりまで持とうとすると施設側からのもっと色々な踏み出しが必要なのではないかと思う。その具体案として、過去の事例を紹介しての具体的な説明や地域のイベントや運営推進会議の参加とその時の写真をいれての記録等の公開や掲示板を含めたCM全般の働きかけをする事についての意見を頂いた。又、災害時等の共助にも影響があるので日頃から関係を密にしておいてほしいとの意見でした。</p>	<p>事業所と地域が関わりを持つ事を目標に施設近辺地域の社会資源を調べて積極的に参加を心掛ける。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>民生委員さん他、町内の皆様のご協力を得ながら情報を集めて、どこへ相談に行ったら問題を解決出来るのかわからない方を含めた取り残されそうな人についても働きかける様に努める。</p>	<p>利用者さんが外出したり地域の行事やイベントに参加したり地域の方々との会議の開催をする事については参加して頂く方は元より地域の方々の目に触れることになり自然に認識して頂いているようなのですが利用者以外の近所の心配な方々について事業所が関わるのは業務としての相談を受ける時のみであってこちらから情報を集めて係る様な事にはなっていない。</p>	<p>行事、イベント、外出や会議については運営推進会議の中で紹介し交流をもって認識を深めて頂き、地域の心配な方々については運営推進会議の中で情報の交換を行い全体の情報の流れを良くする事で行動を起こす方向の意見がでました。最初は情報をまとめて声掛けからでもはじめていきたいと思えます。専門機関もあり地域の方々も関わる事が少なく解らない方もおられる様でした。</p>	<p>問題を抱えた人の情報を集める他方で相談受付の窓口を設け入所対象の相談以外の相談についても受け付ける事を掲示板等に表示する。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>運営推進会議は町内と情報交換をしたり意見を交わしながら交流を深めていく重要な接点なので遊び程度のささいな事で良いので利用者さん、家族さんも含めて出来るだけ参加して検討会に加わって頂き、とにかく係りを大切にする様に心掛ける。</p>	<p>事業所が取り組んでいる事を運営推進会議が説明発表する良い機会となっており出来る事であれば一緒にやりたいという意識は地域の方にも職員にも定着しつつある感じがする。情報として入手しにくい地域の心配な方の取り組みについてのみあまり進展がないという結果になった。</p>	<p>運営推進会議で地域の方々から心配な方の情報を聞き出し具体的に事例検討を試みてはどうかとの意見があった。心配な人に限らず情報は広く集める必要がある。心配な方の情報については専門機関もあり、地域の方もあまり知らない場合もある様である。</p>	<p>運営推進会議が情報交換の重要な役割を担っているのは参加者は良く理解しているがその中で前より問題として残っている地域の心配な方々との関わりについて目標として情報を入手して事例検討してファイル化する事を心掛けたい。</p>

<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>町内の防災訓練には少人数の見学程度になっても良いから、とにかく参加する事から始める。施設内の防災訓練についても町内の皆様に参加して頂ける様に運営推進委員での連絡、掲示板での掲示等の方法を使って事前連絡を行う。</p>	<p>事業所は防災訓練を行い地域の防災訓練に参加はしているが、地域の方々には事業所の防災計画、防災訓練の事についてあまり理解をしていただけていないし、参加して頂けていないとの結果がでた。</p>	<p>事業所内の防災対策、防災訓練の実施計画を事業所内の掲示板に掲示して皆さんに広く知って頂く必要がある。地域の消防団員、防災士、女性防災クラブ等を含めた訓練を行うとよいと思うし、運営推進会議で集まった時に参加してもらってはどうかとの意見も頂きました。</p>	<p>事業所から町内の防災訓練への参加は毎年少人数ながらも出来ているが、事業所の防災訓練に参加して頂くことは少なく運営推進会議の後、見学からでも実施していきたい。その機会に防災計画にも触れて頂き理解を深めて頂くよう心掛ける。</p>
-----------------------	---	---	--	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画
新しい利用者さんが利用開始する時、又情報に変更があった場合には、個別のカンファレンスを開いて正確な情報の収集や更新に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
新しい利用者さんの利用開始時の情報を入手したり、職員で共有する為の手順は定着しつつあり、職員の評価も出来ているとの評価が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	7	2	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	3	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	7	2	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用開始前には情報を集め事前にカンファレンスや申し送りノートにより情報を共有し、その後も早く慣れて頂く為、訪室声掛けを繰り返し新たな情報を得る毎にカンファレンスや申し送りノートにより全員に公開して共有した。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	情報を得ていても苦手意識があったり、さまざまな理由で有効に生かしてない場合がある。又、担当者が家族さんと直接の対話する機会が少なく、今必要とされている情報を得られにくい事がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	家族さんから直接得られる情報は重要なので、声掛け等の働きかけをする様にして来所し易い環境をつくる様にする事に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画
知り得た重要な情報については他の職員に早く正確に伝える事を意識して必要な時にはミーティングを開いて情報共有に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
初期段階で入手された情報の取り扱いについての評価は高いのに対して、職員が途中で入手した情報扱いについては他の職員に情報が行きわたってない場合があり、バラつきのある評価になった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	3	1	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	4	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	5	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	2	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
フェイスシート等の情報をファイルにして職員に公開されており、各自で確認を取っており新たな情報があった場合にもカンファレンスの議題にあげるのと申し送りノートに記載する事により都度更新されている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報伝達の方法はほぼ確立されているが、職員が途中で入手した情報については記入漏れ未読の様な人為的情報伝達ミスが発生する事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
個別に入手した新しい情報については伝達ミスが発生する事があるので伝える側はまちがいをなく申し送りノートやカンファレンスを使って伝える、伝えられる側もまちがいをなく目を通すことを徹底する。カンファレンスに必ず参加する様にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

3. 日常生活の支援

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	6 人	2 人	0 人	9 人

前回の改善計画
 情報共有を図るために各自、自分の持ち場別にそれぞれの係り方で利用者さんの特性を知るように努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 利用者さんや家族さんへのアプローチの仕方は各担当で様々ですが、各自のやり方で理解を深めているという手ごたえを感じており、なんとかできている程度の評価となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	4	4	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	3	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	4	2	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	5	3	0	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用者さんに毎に担当者を付け、自分の責任領域である事の自覚を持つ事によって方法についても各自で考え方法を工夫して理解を深められている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

2. 「～したい。」の実現 同様に途中で新たに知り得た情報について伝達ミスが発生している。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 各担当者は各人の介護の方法や成功例、失敗例をあげカンファレンス等で話し合い全体のレベルアップを図る様に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野 古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	2人	4人	2人	1人	9人

前回の改善計画	機会がある毎に家族さんに利用者さんの様子を知らせて、近況を知って頂くように努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	よく来所される家族さんについては来所時に担当者が報告して、来所の少ない家族さんについては電話等を使っての近況報告をなんとか出来ているとの評価となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	2	1	9
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	5	3	1	9
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	5	2	1	9
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	4	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 毎日の訪室時に情報を得て、家族さんが来所されたりイベント参加された時に近況報告させて頂き重要であったり緊急を要する場合には電話を使っての報告も行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 来所の少ない家族さんとか地域の方々でも会う機会の持てない方とは、コミュニケーションがとりづらくなってしまっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 担当職員は来所の多い家族さんについては、来所時に積極的にコミュニケーションを図り、来所の少ない家族さんについても他の方法(電話・メール・手紙等)を使って報告をする様に努めコミュニケーションを大切にする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野 古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	3 人	6 人 0	0 人	9 人

前回の改善計画	社会資源についてミーティングを行い使用可能な資源や使用したい資源を整理しておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	社会資源の整理については余り出来ていないとの自己評価である。整理されないまま必要に迫られた時に調べたので何とかして来ているので、しなければならないと思いながら後回しになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	4	5	0	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	5	2	0	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	4	2	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	5	2	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
入居者さんの変化には各人注意をはらっており、訪室時他接触時に状態を注意観察して新しく気付いた事については、申し送りノートやロコミにより情報共有し、それに基づくケアを行う様にしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
入居者さんの直接の情報はよく把握できていたとしても、社会資源の様な周辺部については手薄になりその結果ニーズに届かない場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
少なくとも社会資源として使用したり、検討したものは社会資源用のファイルを用意しておき次回の使用時に検討可能な様に整理してファイルしておく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

6. 連携・協働

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	5 人	3 人	0 人	9 人

前回の改善計画
 連携を図るために地域の行事には、利用者さんと職員が一緒に参加できるように心掛ける。又、施設内の行事やレクレーションに外部から参加して頂ける様に掲示板で案内を出す。

前回の改善計画に対する取組み結果
 施設内行事については玄関前掲示板に案内を出しており、外部の行事についても参加人数は少ないが、参加は出来ているとの評価となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	2	4	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	2	1	6	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	3	4	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	4	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 他のサービス機関とは会議を持つほどの機会は少ないが、外部活動へは参加する様にして、施設内行事についても参加して頂くよう働きかけて情報交換はできている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 来所される機関とは接触を持ち情報交換できるけれど、来所して頂ける機会や訪問の機会が少ない為に出来ていない機関が多い。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 地域の行事や会合に利用者さんや職員が参加する時に、一定の人に偏ってしまわない様に順番に出来るだけ多くの人に参加してもらう様に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

7. 運営

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	3 人	3 人	2 人	9 人

前回の改善計画	出来るだけ会議等の予定に合わせたシフトを組むようにして職員は協働に努め会議等へ参加出来るように時間的な余裕を作ることを心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	会議毎に意識はしてはいるが事前にシフトを組むのが難しい時もあり、人手の問題もあり達成度では半分出来たか出来ないか程度でした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	1	5	2	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	0	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	3	2	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	3	2	0

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員にはカンファレンスや申し送りノートで意見を述べる機会があり、個人差はあるが出来ている又、地域の方の意見も運営推進会議で活発に出して頂いている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意見や苦情については地域の意見は運営推進会議で出して頂き運営に利用されているのですが、利用者さんや家族さんについては言いにくさもあるのか余り出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 職員や利用者さんには出来るだけ会議に参加して頂き、特に職員は会議全部に参加できなくても部分的に参加して出来るだけ多くの人に経験してもらう様に努める。 職員は利用者さんとの情報交換に努め、会議に参加する場合に利用者の代弁をするつもりで参加する様心得る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野
古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	5 人	3 人	1 人	9 人

前回の改善計画
カンファレンス等を利用して社内研修会を行い基本的技能の向上を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
誤嚥性肺炎の注意が必要な人が増えたことを機会に、食事介助・介護食品・口腔ケアの社内研修を行った。時間がない時は数人毎に分けて行い、回数としては少ないが今後他の項目についても順次行っていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2	3	3	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	2	3	2	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	0	7	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	7	1	1	9

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
カンファレンスで職場内研修を実施して、リスクマネジメントについても話し合われている。職場外研修は資格取得やスキルアップの為の研修と同等に個人で管理されており適時、実施されている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
それぞれの役割の中で、地域連絡会に参加する職員は決まっておきほとんどの職員は参加する機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
カンファレンス等を利用して、適時必要と思われるテーマについて研修を実施する。又、社外の研修会も利用して個別にスキルアップすることに努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 8 月 22 日～平成 30 年 9 月 8 日
9. 人権・プライバシー	メンバー	西原・鈴木・高田・戸田・宇和川・大石・大野 古川・酒井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	2 人	2 人	9 人

前回の改善計画	施設内外で接遇、電話対応、虐待及び身体拘束の学習会を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	カンファレンスを利用して、虐待及び身体拘束については何度も実施しているが、接遇に関しては一度の実施のみで電話対応に関しては個人に任されている状態である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	0	0	9
②	虐待は行われていない	5	4	0	0	9
③	プライバシーが守られている	2	6	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	1	0	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	6	1	0	9

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 人権・プライバシーについては職員にも絶対に守らなければならないという特別な意識があり、ほぼ出来ているとの評価です。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見人制度を使用してまで保護しなければならない該当者がおられない事もあり、まだ職員にこの制度の知識が行き渡っていない。個人情報については職員によって取扱いのむらがある様です。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 虐待・身体拘束の知識を正しく持ち、利用者さんの身体及び情報についても必ず守るという自覚を持つ様に心掛ける。
---------------	--